

平素より大変お世話になっております。連合事務局です。
連合メールニュース 11月号を送付させていただきます。

★2018年大会のセッション提案がまもなく終了いたしました。連絡委員の方やプログラム委員のみなさまにご尽力いただき、学協会共催セッションを取りまとめることができました。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

Japan Geoscience Union delivers this Mailnews to JpGU ID holders.

English version:

<http://www.jpгу.org/index-e/publications/mailnews/2017/20171110.html>

□

└■ 日本地球惑星科学連合メールニュース 11月号 No.302 2017/11/10

◀ 目次 ▶

-
- | 1. 巻頭言 会長 川幡徳高
 - | 2. 連合大会のお知らせ
 - ・セッション提案受付状況のご報告
 - ・団体展示出展者募集開始!
 - ・PEPS 特別セッション
 - | 3. 2018年度日本地球惑星科学連合フェロー推薦募集のお知らせ
 - | 4. 委員会等から
 - ・グローバル戦略委員会
 - | 5. PEPS からのお知らせ
 - ・Scopus への登録決定!
 - ・PEPS の最新情報
 - | 6. 新着情報
 - ・イベント(学術研究集会・シンポジウム・一般公開等)
 - ・募集
 - ・公募/求人
-

□

■ 1. 巻頭言

公益社団法人日本地球惑星科学連合 会長 川幡徳高

太陽暦と太陰暦は何日かずれています。2017年の場合には11月18日～12月17日が旧暦10月となります。10月は「神無月」と呼ばれ、出雲大社に全国の神が集合してしまうために、出雲以外には神がいなくなると言われますが、これはどうも俗説らしく、神無月の「無」が「の」にあたる連体助詞「な」で「神の月」という意味が有力説のようです。とはいえ、これは「自然に八百万の神が宿り」、「沢山の神様が存在するという」日本人の思いとも矛盾しないので、広く受け入れられてきたのかもしれませんが。日本人は基本的に宗教には寛容で、お正月には神宮にお参りし、東大寺に行けば大仏さんをお参りし、年末になれば商業的とはいえ、クリスマスをお祝いします。

現在の宗教別人口は、統計によっても違いがありますが、キリスト教徒が約22億、イスラム教徒が約16億人で、ヒンズー教が約9億人、仏教が約4億人となっています。世界最古の宗教と言われるユダヤ教の宗徒数は約1200万人です。出生率の違いなどにより、2070年にはキリスト教徒とイスラム教徒はほぼ同数となり、2100年にはイスラム教徒が35%に達してキリスト教徒を1ポイント上回ると予想されています。一方、無神論者の数も世界的に増加しているとのことです。

現代日本人は食に対するイデオロギーがほとんど無いと言えるかもしれませんが、戒律により規制が厳しい場合も沢山あります。ユダヤ教の戒律は厳しく、食物の清浄規定は「カシュート」と呼ばれます。規制は沢山あり、鱗がある魚は食べられますが、鱗がない「イカ、タコ、海老」、「豚、イノシシ、ウサギ」は食べられません。イスラム教の国々でも中華レストランでは豚肉料理が供されるのですが、私達が訪れたエルサレム市では提供されないような規則は厳格です。イスラム教の人々が戒律から避ける食材は「豚」「アルコール」「血液」「宗教上の適切な処理が施されていない肉」となります。ヒンズー教の人々は「牛を聖なるもの」とするので牛肉は食しません。基本的に殺生を避けたいためヒンドゥー教徒にはベジタリアンが多いようです。

連合大会期間中に海外の若手研究者との交流の場として「International mixer luncheon」を開催してきていますが、ハラールとベジタリアンの希望を聞いてホテルニューオータニ幕張に対応をお願いしています。宗教上や健康上の理由でベジタリアンという方々のほかに、近年ではAnimal Rights（動物の権利）などの観点からベジタリアンになる方が増えているそうです。懇親会では、ベジタリアンのコーナーを設けています。また、2017年大会では

千葉市に協力を仰ぎ、千葉市の穆斯林対応レストランマップを会場で提供しました。

http://www.jpгу.org/meeting_e2017/img/access/chiba_map_for_web.pdf

これには、イスラム教の研究者より好評のコメントをいただきました。また、イスラム教の人々は一日何度かお祈りをします。そのため、男女別々に部屋 http://www.jpгу.org/meeting_e2017/access.html を用意しました。

オリンピックを控え、日本政府も世界から来日する旅行者が快適に過ごせるように努力を促していますが、連合大会に参加される科学者にも満足していただけるよう、これからも参加者からのリクエストに応じていきたいと考えています。

□

■ 2. 連合大会のお知らせ

(1) セッション提案受付状況のご報告

10月12日をもちまして、2018年大会のセッション提案募集が締め切られました。お陰様で、多くのセッションをご提案いただき、応募セッション総数は236となりました。みなさまの積極的なご投稿をお待ちしております。なお前回同様、2018大会も発表要旨投稿前にコマ割りを公開いたします。

開催セッションリスト及びコマ割公開：2017年12月1日(金)

発表要旨投稿開始：2018年1月10日(水)

(2) 団体展示出展者募集開始！

大会では各種ブース出展者を募集いたします。募集開始は11月15日頃を予定しております。昨年よりもさらにブース数を拡張し、最新情報の発信や交流の場として充実をはかります。詳細は15日以降に大会公式ホームページをご確認ください。

(3) PEPS 特別セッション

2018年連合大会のPEPS特別セッションにつきましては、旅費サポートの申請を2018年3月以降に募集する予定です。募集時期がまいりましたら、あらた

めてご案内いたします。

□

└■ 3. 2018年度日本地球惑星科学連合フェロー推薦募集のお知らせ

現在連合では2018年度連合フェローの推薦を受付中です。以下のいずれかに該当する方を、是非ご推薦ください。

- ・地球惑星科学研究領域におけるパラダイムシフトやブレークスルーもしくは発見などを中心に、地球惑星科学の学術の発展に著しい貢献をした方。
- ・日本の地球惑星科学の発展、あるいは地球惑星科学の知識普及に著しい貢献をした方。

推薦方法：下記詳細をご覧の上、締切までに必要書類をお送りください。

推薦締切：2017年12月31日(日) 必着

募集詳細：<http://www.jpгу.org/articles/20171006fellowprogram.html>

参 考：連合フェロー紹介ウェブページ

<http://www.jpгу.org/awards/jpgufellow.html>

□

└■ 4. 委員会等から

(1) グローバル戦略委員会

AGU ブース出展のお知らせ

12月11日(月)～15日(金)に New Orleans で開催される AGU Fall Meeting 2017 に、今回も JpGU のブースを出展いたします。連合 2018 年大会においても AGU とのジョイントセッションが数多く開催予定であり、また連合 2020 年大会が AGU と二回目のジョイント大会として開催されることも宣伝する予定です。ブース番号は#845 です。ご参加される方は、ぜひ JpGU ブースへお立ち寄りください。

□

└■ 5. PEPS からのお知らせ

(1) Scopus への登録決定！

PEPS が、Elsevier 社による抄録・引用文献データベース Scopus に登録されることになりました。創刊以来 PEPS を支えてくださった多くの皆様方に感謝申し上げます。今後もより高いレベルの学術誌として、グローバルな地球科学の発展に貢献できるよう、努力してまいります。引き続き、査読や投稿を含め、皆様のご協力をいただきますよう、どうぞよろしく願いいたします。

(2) PEPS の最新情報

新規出版論文のご紹介など、PEPS の最新情報は、下記にて画像付きでご覧いただけます。

<http://peps-jpgu.bmeurl.co/75DEC20>

□

└■ 6. 新着情報

(1) イベント（学術研究集会・シンポジウム・一般公開等）

第 9 回 AONSA スクール／第 2 回中性子・ミュオンスクール

日時：11 月 16 日(木)13:00～16:50

場所：いばらき量子ビーム研究センター,J-PARC 物質生命科学実験施設(MLF)

主催：The 9th AONSA/The 2nd Neutron and Muon School

内容：中性子科学，ミュオン科学の基礎に関する講義を学習した後，実験装置に触れて実習を行うことで，その理解を深めることができるプログラムです。中性子科学およびミュオン科学に興味がある国内外の大学院生，大学・研究機関・企業の若手研究者の多くの皆様のご応募をお待ちしております。

<http://www.cross-tokai.jp/9thAONSAschool/>

2017 年度秋季（第 37 回）国際コミュニケーション・フォーラム

「ICT」×「AI」×「防災・減災」

日時：11 月 18 日(土)15:00～18:00

場所：早稲田大学 早稲田キャンパス 19号館 7階 711教室

主催：公益財団法人情報通信学会

内容：基調講演1「減災のための AI/ICT」野田五十樹氏

基調講演2「熊本地震の経験」(仮)江口清貴氏

パネル・ディスカッション パネリスト5名

<http://www.jsicr.jp/operation/forum/index.html>

女子大学院生・ポスドクと産総研女性研究者との懇談会 in つくば

日時：11月20日(月)～21日(火)

場所：産業技術総合研究所 つくばセンター中央

主催：産業技術総合研究所 ダイバーシティ推進室

内容：将来、研究者を目指したい方はもちろん，“在職の女性研究者の話をききたい”，“研究現場を見たい”など、産総研にご興味をお持ちの方は、是非ご参加下さい。

https://unit.aist.go.jp/diversity/ja/event/171120_div_event.html

火山災害軽減のための方策に関する国際ワークショップ 2017「火山監視と防災」

日時：11月22日(水) 9:30～16:30

場所：都道府県会館（東京都千代田区）

主催：防災科学技術研究所,山梨県富士山科学研究所

共催：日本火山学会, 富士山火山防災対策協議会

内容：我が国の火山監視・防災体制のあり方について議論します。どなたでもご参加いただけます。参加費無料・申込不要・同時通訳付。

<http://www.mfri.pref.yamanashi.jp/news/workshop2017.pdf>

国際シンポジウム 2017「火山噴火と防災対応」

日時：11月24日(金)10:00～16:00

場所：ホテル談露館（山梨県甲府市）

主催：山梨県富士山科学研究所 国際シンポジウム 2017 実行委員会

共催：日本火山学会,富士山火山防災対策協議会

内容：国内外の事例をもとに火山災害の軽減策を考えます。どなたでもご参加いただけます。参加費無料・申込不要・同時通訳付。

<http://www.mfri.pref.yamanashi.jp/news/symposium2017.pdf>

世界防災フォーラム

日時：11月25日(土)～11月28日(火)

場所：仙台国際センター/東北大学 川内萩ホール

主催：世界防災フォーラム実行委員会

(東北大学災害科学国際研究所内 世界防災フォーラム事務局)

内容：国内外から産・官・学・民の防災関係者が集結。スイスの防災ダボス会議と連携し、防災の具体的なアイデアを作り出し、東日本大震災の経験を伝え、国際的な防災指針「仙台防災枠組 2015-2030」を推進します。

<http://www.worldbosaiforum.com/>

防災推進国民大会 2017

日時：11月26日(日)～11月27日(月)10:00～17:00

場所：仙台国際センター,せんだい青葉山交流広場

主催：防災推進国民大会 2017 実行委員会

内容：自助・共助及び連携を促進するため、国民の防災意識の向上等を図る必要があります。その契機として、国民各層の多様な団体・機関等が一堂に会し、専門家から家族連れまで楽しめる防災に関する総合啓発イベントを開催いたします。

<http://bosai-kokutai.jp/>

I-URIC／4 機構連携男女共同参画シンポジウム

日時：11月29日(水)13:00～18:00

場所：人間文化研究機構国立国語研究所講堂（立川）

主催：4 機構（NIHU, NINS, KEK, ROIS）

内容：今年5月に東京で開催された国際会議ジェンダーサミット 10（GS10）の内容を集中的に取り上げ、これまでの「男女は平等であるべき」という考え方から少し離れ、男性と女性（あるいは第三の性）が相互に違いを認め合い互いの長所を活かしあうチームワークによって、優れた研究成果の発信、円滑な業務の推進、より良い職場環境の実現を目指す取組みについて議論します。

http://danjo.rois.ac.jp/index.php?action=pages_view_main&active_action=journal_view_main_detail&post_id=253&comment_flag=1&block_id=373#_373

全球降水計画（GPM）シンポジウム

「宇宙から見る雨～これまでの20年、これからの20年～」

日時：11月29日(水)13:00～17:00

場所：富士ソフトアキバプラザ ホール

主催：宇宙航空研究開発機構

内容：衛星リモートセンシングによる降水や水循環観測の意義と社会に対する貢献を一般にアピールすると共に、将来の世界の降水観測の展望を示す。

<http://gpm2017.com/ja/>

CSIS DAYS 2017「全国共同利用研究発表大会」

日時：11月30日(木)～12月1日(金)

場所：東京大学柏の葉キャンパス駅前サテライト1階多目的ホール

主催：東京大学 空間情報科学研究センター

内容：一般公募による研究発表と、CSISと共同研究を進めている研究者の方々による発表とが行われます。空間情報科学に関する研究の成果を広く知っていただき、産官学の連携を促進する、研究交流の活発な場に発展することを期待しております。

<http://www.csis.u-tokyo.ac.jp/csisdays2017/>

第7回広島大学・海洋研究開発機構合同シンポジウム—生命地球科学の最前線

日時：12月1日(金)13:00～17:00

場所：広島大学東広島キャンパス図書館ライブラリーホール

主催：広島大学理学研究科地球惑星システム学専攻、海洋研究開発機構高知コア研究所、広島大学附属理学融合教育研究センター

内容：地球科学・微生物学の融合を推進する研究者を招き、地下生命圏・難培養性微生物・断層挙動・鉱物資源・地球史などに関する研究の最前線にせまる。

http://depss.hiroshima-u.ac.jp/pdf/H29_JAMSTEC_HU7.pdf

平成29年度気象研究所研究成果発表会～自然を知り自然災害に挑む～

日時：12月2日(土)13:30～16:30

場所：一橋大学一橋講堂（学術総合センター内）

主催：気象庁気象研究所

内容：注意報・警報等の防災情報を発信している気象庁の技術的な基盤を支える気象研究所における最新の研究をわかりやすく紹介します。

<http://www.mri-jma.go.jp/Topics/H29/Happyoukai2017/poster.pdf>

第36回技術サロン（技術者・技術士を目指す女子学生・女性社会人向け懇話会）

日時：12月16日(土)13:00～16:00

場所：葦手第二ビル CD会議室

主催：公益社団法人日本技術士会 男女共同参画推進委員会

内容：アイスブレイク,技術士制度の説明・質疑応答,
技術士制度の理解を深められます。男性技術士も出席しますので、お話が出来るチャンスです。懇話会でお茶とお菓子を味わいながら、女性同士で遠慮なくお話をしましょう。

https://www.engineer.or.jp/c_cmt/danjyo/topics/005/attached/attach_5409_1.pdf

(2) 募集

公益財団法人高輝度光科学研究センター

2018A 期における SACLA 利用研究課題(締切 2017/11/10 午前 10 時)

<https://xfel.jp/s/proposal>

東京大学地震研究所

平成 29 年度地震火山災害予防賞公募(締切 2017/11/24 午後 5 時)

<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/saigaiyoboushow/>

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)研究プロジェクト推進部

戦略的創造研究推進事業 総括実施型研究(ERATO)

研究総括候補推薦(他薦)(締切 2017/11/30 正午必着)

<https://www.jst.go.jp/erato/application/index.html>

利尻島調査研究事業事務局

2018 年度利尻島踏査研究事業の募集(締切 2017/12/31)

http://riishiri.sakura.ne.jp/Sites/RRP/id/02_2018.pdf

公益財団法人とうきゅう環境財団

多摩川およびその流域の環境浄化に関する基礎研究, 応用研究, 環境改善計画
のための研究・活動助成の募集(締切 2018/1/19 消印有効)

<http://www.tokyuenvironment.or.jp/invite>

(3) 公募/求人

北海道大学理学研究院地球惑星科学部門地球惑星システム科学分野

テニュアトラック助教(締切 2017/11/14)

<https://tenure-track.cris.hokudai.ac.jp/wp-content/uploads/2017/09/081f75e8871e01c02225fedd642a2279.pdf>

国立研究開発法人海洋研究開発機構 海洋生物多様性研究分野
任期制職員(研究員もしくは技術研究員)(締切 2017/11/15)
<http://www.jamstec.go.jp/recruit/details/bdive20171115.html>

国立極地研究所 特任研究員(締切 2017/11/17)
<http://grantarctic.jp/koubo/koubo.html>

筑波大学生命環境科学研究科 地球環境科学専攻
助教 (テニユアトラック) (締切 2017/11/17)
<http://www.tsukuba.ac.jp/update/jobs/pdf/2017/201710181420.pdf>

国立研究開発法人海洋研究開発機構 海洋生命理工学研究開発センター
ポストドクトラル研究員(締切 2017/11/17)
<http://www.jamstec.go.jp/recruit/details/rcmb20171117.html>

東京大学地震研究所 地球電磁気分野 教授(締切 2017/11/27)
<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/wp-content/uploads/2017/10/61d2fbed50a185361d53f75e56320776-1.pdf>

東京大学地震研究所観測開発基盤センター
特任研究員(スロー地震学)(締切 2017/11/27)
<http://www.u-tokyo.ac.jp/content/400068073.pdf>

国立研究開発法人海洋研究開発機構 地球環境観測研究開発センター
地球表層物質循環研究グループ 研究員もしくは技術研究員(締切 2017/11/27)
<http://www.jamstec.go.jp/recruit/details/rcgc20171127.html>

国立研究開発法人科学技術振興機構 日本科学未来館 科学コミュニケーター(締切 2017/11/27)
http://www.miraikan.jst.go.jp/employment/sc_20171031.html

東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻 助教(締切 2017/11/30)
http://www.eps.s.u-tokyo.ac.jp/recruit/Sp_jp_20170914.pdf

富山大学人間発達科学部人間環境システム学科 特命講師(締切 2017/11/30)

https://www.u-toyama.ac.jp/outline/employ/doc/edu_171130.pdf

京都大学理学研究科地球惑星科学専攻 助教 2名(締切 2017/11/30)

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/acceptance/other/koubo/rigaku/2017/171130_1030.html/at_view/file

神戸大学 教授(締切 2017/11/30)

<http://www.research.kobe-u.ac.jp/rcis-kurcis/KURCIS/koubo20171006.pdf>

国立研究開発法人海洋研究開発機構 地震津波海域観測研究開発センター
海底観測技術開発グループ ポスドク研究員 2名(締切 2017/12/8)

<http://www.jamstec.go.jp/recruit/details/ceat20171208.html>

宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 ポスドク研究員(締切 2017/12/11)

<http://www-sys.eps.s.u-tokyo.ac.jp/aqua-planetology/index.html>

北海道大学 低温科学研究所 水・物質循環部門 助教(締切 2017/12/14)

<http://www.lowtem.hokudai.ac.jp/koubo/c25.pdf>

東京大学地震研究所 多圏地球物理学分野 准教授(締切 2017/12/15)

<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/wp-content/uploads/2017/09/960c7e24fe0ba11ce83cd802dc146858-3.pdf>

国立研究開発法人海洋研究開発機構

北極環境変動総合研究センター北極環境・気候研究ユニット

上席研究員もしくは上席技術研究員(締切 2017/12/15)

<http://www.jamstec.go.jp/recruit/details/iace20171215.html>

国立研究開発法人海洋研究開発機構 シームレス環境予測研究分野

上席研究員もしくは上席技術研究員(締切 2017/12/15)

<http://www.jamstec.go.jp/recruit/details/dsep20171215.html>

米国サンディエゴ州立大学(San Diego State University, CA, USA)

博士課程学生(Ph.D. Student)(締切 2017/12/15)

<http://sci.sdsu.edu/geology/jdp/>

国立研究開発法人海洋研究開発機構 数理科学・先端技術研究分野
主任研究員もしくは主任技術研究員(締切 2017/12/18)

<http://www.jamstec.go.jp/recruit/details/mat20171218.html>

東京大学地震研究所 特任研究員 3名(締切 2017/12/25)

<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/wp-content/uploads/2017/10/c487c25dd900922be7617ae954a5aa97-19.pdf>

島根大学エスチュアリー研究センター 講師または助教(締切 2017/12/25)

<http://www.esrec.shimane-u.ac.jp/docs/2017102500060/files/recruitment-1.pdf>

北海道大学大学院工学研究院 准教授(締切 2017/12/27)

http://yggdrasil.eng.hokudai.ac.jp/download_file/files/qjin/pa29-8.pdf

京都大学大学院人間・環境学研究科 環境学専攻

特定研究員（特定有期雇用教職員）(締切:適任者の採用が決定した時点で募集終了)

https://www.h.kyoto-u.ac.jp/topics/info/20171024_koubo_tokuteiken/

□

└■ 地球惑星科学関係者の皆さまへ

日本地球惑星科学連合メールニュースは、地球惑星科学分野の最新の情報を集約して提供することを目的として、日本地球惑星科学連合ホームページにおいて、個人情報（会員）登録をされた方全員に配信しています。まだ個人情報（会員）登録をされていない周囲の方々に、ぜひ登録を勧めて下さい。大学・研究機関・企業・教育関係、そのほか地球惑星科学に関心のある方でしたらどなたでも登録することができます。

個人情報(会員)登録はこちらから：<https://www.member-jpgu.org/jpgu/ja/>
掲載情報の提供を歓迎いたします。学術研究集会・シンポジウム・一般公開等のイベント情報、公募・求人情報など、随時受け付けています。

★イベント情報受付：<http://www.jpgu.org/event/entry.php>

★公募・求人情報受付：<http://www.jpgu.org/jobs/entry.php>

編集：公益社団法人日本地球惑星科学連合 広報普及委員会

発行：川幡 穂高(公益社団法人日本地球惑星科学連合 会長)

公益社団法人日本地球惑星科学連合 (<http://www.jpogu.org/>)

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル 4 階

*本メールニュースは個人情報(会員)登録者に配信しています.

*毎月10日に定期発行するほか, 必要に応じて随時発行します.

*お問い合わせ・ご意見は, 連合事務局(office@jpogu.org)へお願いします.

*メールニュースの配信停止をご希望の際には下記 URL からお願いします.

なお, この配信停止はメールニュースにのみ適用されます.
